

農業経営改善計画認定申請書

平成 年 月 日

浜松市長様

申請者住所 静岡県浜松市西区〇〇町△△△番地

ふりがな 〇〇〇〇 〇〇〇
氏名 □□ ☆☆ 印

【記入例】

TEL 053- - FAX 053- -

E-mailアドレス

生年月日 昭和〇〇年〇月〇日 〇歳

法人設立年月日

設立

農業経営基盤強化促進法(昭和55年法律第65号)第12条第1項に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農業経営改善計画					
①目標とする営農類型	露地野菜(たまねぎ・かんしょ)				
②経営改善の方向の概要	機械の導入による作業の効率化や、徹底した病虫害対策により収量を増加させる。また、たまねぎの秀品(A級品)の生産やかんしょの早期出荷により収益の向上を図るとともに、経費の削減に努めることで、所得の増加をめざす。				
	(年間農業所得及び年間労働時間の現状及び目標)				
		現状		目標	
	年間農業所得	3,000	千円	6,000	千円
年間労働時間	2,400	時間	2,000	時間	
③農業経営の規模の拡大に関する目標	作目・部門名	現状		目標	
		作付面積 飼養頭数	生産量	作付面積 飼養頭数	生産量
	たまねぎ	80 a	40,000 kg @162	80 a	48,000 kg @200
	かんしょ	30 a	5,000 kg @158	30 a	6,000 kg @300
	経営面積合計	110 a		110 a	
	区分	地目	所在地(市町村名)	現状	目標
所有地	畑	篠原町	16 a	16 a	
	借入地	畑	篠原町	64 a	64 a

	作目	作業	現状		目標	
			作業受託面積	生産量	作業受託面積	生産量
③ 農業経営規模の拡大に関する目標	特定作業受託					
	作業受託					
	単純計					
	換算後			0.00		0.00
	事業名	内容	現状	目標		
	農畜産物の加工・販売 その他の関連・附帯事業					

	機械・施設名	形式、性能、規模等及びその台数							
		現状			目標				
④ 生産方式の合理化に関する目標	トラクター	21	ps	1	台	21	ps	1	台
	耕耘機			2	台			2	台
	軽トラック			1	台			1	台
	農舎兼倉庫	128	m ²	1	棟	128	m ²	1	棟
	パイプハウス	175	m ²	1	棟	175	m ²	1	棟
	マルチかけ機			1	台			1	台
	動力噴霧機			2	台			2	台
	土壌消毒機			1	台			1	台
	定植機(たまねぎ)			0	台			1	台
	たまねぎ調製機(根切り・葉切り)			0	台			1	台

	現状		目標
	3カ所に点在している農地を利用。		継続。
農用地の利用条件			
④生産方式の合理化に関する目標	作目・部門名	現状	目標
	たまねぎ	定植や出荷調製を手作業で行なっている。	機械の導入による作業の省力化・効率化。
	たまねぎ	秀品(A級品)の発生率が7～8割程度。	秀品(A級品)の発生率を9割程度にする。
	かんしょ	収穫・出荷の時期が遅いため、単価が安い。	収穫の早期化に努め、少しでも単価の良い時期に出荷する。
作目・部門別合理化の方向			
⑤経営管理の合理化に関する目標	現状		目標
	白色申告。		青色申告の実施。 パソコンを活用した経営管理をする。

	現状	目標
	⑥農業従事の態様等の改善に関する目標	休暇は不定期である。

	経営改善の目標	措置
	⑦目標を達成するためにとるべき措置	<p>収量の増加</p> <p>品質の向上</p> <p>経費の削減</p> <p>販売先の開拓</p> <p>制度資金の活用</p>

(参考) 経営の構成	氏名 (法人経営にあっては役員の氏名)	年齢	代表者との続柄 (法人経営にあっては役職)	現状		見通し	
				担当業務	年間農業従事日数(日)	担当業務	年間農業従事日数(日)
	□□ ☆☆	○	(代表者) 本人	生産全般	300	生産全般	250
	□□ ◆◆	○	妻	生産全般	250	生産全般	200
	□□ ○○	○	長男	生産補助	50	生産補助	50
	□□ ◎◎	○	長男の妻	生産補助	30	生産補助	30

「8時間労働=1日」として算出。

雇用者	常時雇(年間)	実人数	現状	0	人	見通し	0	人
	臨時雇(年間)	実人数	現状	5	人	見通し	5	人
		延べ人数	現状	35	人	見通し	40	人

(参考) 他市町村の認定状況	認定市町村名	認定年月日	備考

「8時間労働=1人」として算出。